

四世 今藤長十郎 長唄三味線公演 開催報告

『杜の中の文化祭』の一貫として、今年度から様々な試みで、皆様に伝統芸能の世界をお届けしたいと考えております。

第1回目となる今回は、素敵な佇まいの日本家屋を会場として「長唄・三味線公演」を今藤流家元、四世 今藤長十郎さんをお迎えしてご公演いただきました。五月雨の中、多くのお客様をお迎えし、オリジナル曲含め、3曲、皆様にご堪能頂きました。

下記に、簡単ではございますが、当日の様子をご紹介させていただきます。

平成 21 年 5 月 吉日

(財)日本文化藝術財団 事務局一同

創造する伝統 杜の中の文化祭

四世 今藤長十郎 長唄三味線公演

家元 四世 出演
今藤 長十郎

今藤 郁子
杵屋 秀子
今藤 長由利

平成二十一年五月六日(水・祝)
開場 午後二時三〇分
開演 午後三時
終演予定 午後四時三〇分

会費 三千円
※事前申込制です。当日各公演は無料です。
文化藝術の会費は無料です。

会場 目白庭園 赤烏庵

本公演に関するお問合せ
日本文化藝術財団事務局
電話 〇三(五二六九)〇〇三七
主催 (財)日本文化藝術財団
助成  日本財団
後援 京都造形芸術大学・東北芸術工科大学

【開催概要】

■四世 今藤長十郎 長唄三味線公演

* 日本家屋・座敷で、長唄・三味線を満喫する贅沢な講演。

開催日時： 5月6日(水) 15時00分から16時30分まで

会場： 目白庭園 赤烏庵

出演： 四世 今藤長十郎、

主催： 財団法人日本文化藝術財団

助成： 日本財団

後援： 京都造形芸術大学、東北芸術工科大学

参加者数： 50名



会場の目白庭園



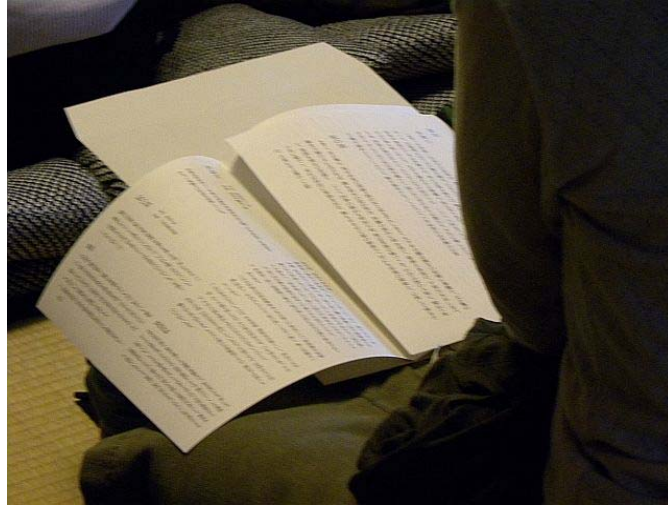


会場の赤烏庵に、雨の中、たくさんのお客様にお越しいただきました。



1曲目と3曲目は古典の曲「多摩川」「松の翁」でした。





2曲目は家元が作曲した「対話Ⅱ」です。洋楽の手法を取り入れて作曲したそうです。



曲と曲の合間に、家元から曲に関するお話がありました。





公演終了後、お客様の質問に家元が答えられました。



ホールでのコンサートとは違った、和やかな雰囲気での公演でした。

※赤烏庵について

目白の閑静な住宅街に、開設された本格的日本庭園です。

限られた空間の中に日本人の自然観を凝縮したこの庭では、池を回遊する園路の随所で自然の造形美に出会えます。水際に築かれた石垣の上には、数奇屋建築の『赤烏庵』が優雅にたたずんでいます。深山を思わせる滝や石組み、水上に浮かんだ『六角 浮き見堂』からの大海を見るような眺めが都会にいることを一瞬忘れさせてくれます。(豊島区ホームページより)

【参加者のご感想】

- ・「対話Ⅱ」が、歌詞がなくても気持ちがどんどん盛り上がって本当に感激しました。新しい世界が広がった気がしました。日本って改めて素晴らしいなと思いました。
- ・本日は素晴らしい音と心をありがとうございました。
日本人の30代ですが、生まれて初めて聞かせていただき、大変感動致しました。2曲目はまるでRockかプログレのようなカッコ良さで驚きました。
日本の伝統文化の素晴らしさにまた感動を覚えた一日でした。ありがとうございました。
- ・非常にすばらし公演会でした。ありがとうございました。
- ・非常にすばらしい公演でした。日本の伝統文化「三味線」に魅了されました。豪華な時間でした。
- ・素晴らしい演奏ありがとうございました。初めて長唄を聞かせて頂いたんですが、そのスケールと奥深さに感動されました。
- ・今回初めて長唄を聞かせていただきましたが、本当にすばらしかったです。正直申し上げますと、意味は分かりませんでした。初体験（三味線も）でいい思い出になりました。これからも機会があれば是非また聞きたいです。
- ・とてもいいうたでした。ほんとうにありがとうございました。
- ・とても楽しく拝見しました。日本文化にふれて、長唄・三味線のイメージがかわりました。
素敵でした。これからの活躍応援しております。色々聞いてみたいと思います。
- ・初めての三味線で感動しました。特に洋楽風と日本風の組み合わせにとっても素晴らしかったです。
周りの風景を味わいながら、三味線を楽しめるのは良かったと思います。
- ・三味線を聴くのが初めてです。聞いているうちに感動するようになり、とてもよかったです。
貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- ・説明があり、大変参考になりました。今後も公演日と都合が合えば参加したいです。
- ・長唄三味線を身近に聞いて素晴らしい体験しました。日本文化の素晴らしさを改めて発見した思いです。
- ・お座敷での和楽のコンサートは特別の調和感があり、好感度は高かったです。永年の演奏技術は素晴らしかったです。
- ・間近にすばらしい演奏をきけて感動し、とても幸せな気分になりました。
- ・五月雨の降る静かな庭先で聴く、日本芸能を改めて感動いたしました。外国学生も大変喜び、感動の言葉を発してました。今後も更なる機会を期待します。